

# 被災地の小学生 十勝で遊び満喫

福島県から受け入れ

星槎グループ

東日本大震災で被災した福島県の子供たちを受け入れる星槎グループ（本部神奈川県）と帯広市の支援事業で、今年も小学生33人が十勝を訪れ、川遊びなどの屋外活動を楽しんだ。

2012年に始まり、4年目。今回は4～8日に十勝に滞在。市内のカウベルハウスに寝泊まりし、豚丼作りやパークゴルフなどさまざまな体験をした。

このうち5日は市内の帯広川下流で、帯広川伏古地区子ども水辺協議会（関川三男会長）会員らの協力で川遊び。子供たちはライフジャケットとヘルメットを着用し、班ごとに、川の中に生息するドジョウやウチダザリガニなどを網ですくって楽しんだ。川流れ体験では、ぶかぶかと体が浮く感覚に笑顔を見せ、何度も繰り返した。



網を使ってザリガニを捕る福島の子供たち

初めて川遊びを体験した佐々木彩さん（中村第二小5年）は「足が冷たくて気持ち良かった。ザリガニも捕まえた」と話した。  
（小縣大輝、松田亜弓）